

範囲指定なし 第4問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 得意先から売掛金の支払いとして当座預金口座に¥70,000 が振り込まれていたが、決算日までに通知が届いていなかったため、未記入であった。
2. 福島商事(株)は、得意先である宮城物産(株)との取引の開始にあたり、同社との長期にわたる取引関係を維持するために、同社の株式 500 株を 1 株あたり ¥6,000 で購入し、取引費用 ¥50,000 とともに小切手を振り出して支払った。
3. 岩手物産(株)は、仕入先山形商事(株)に対する買掛金 ¥500,000 を、得意先秋田商事(株)振出しの約束手形を裏書譲渡することによって支払った。
4. 決算にあたり、当期の退職給付引当金 ¥800,000 を計上する。
5. 青森水産(株)は、先月、仕入先より商品 ¥200,000 を掛で購入したが、今月になって、¥20,000 の割戻を行ってくれる旨の連絡があった。
6. 備品の購入にあたり、国庫補助金 ¥5,000,000 の助成を受けることとなり、当社の当座預金口座に振り込まれた。
7. 新潟物産(株)は、株主総会を開催し、別途積立金 ¥900,000 を取り崩して繰越利益剰余金の借方残高を補填した。
8. 福井物産(株)は、中間申告を行い、法人税等 ¥1,500,000 を小切手を振り出して納付した。
9. 貸付金 ¥4,000,000 は、当期 3 月 1 日に貸付期間 8 か月、年利率 3% で貸し付けたものであり、利息は元金の返済時に受け取ることにになっている。なお、当社の会計期間は 3 月末日を決算日とする 1 年である。収益の未収の仕訳を行いなさい。
10. 連結初年度において子会社は、¥600,000 の当期純利益を獲得した。親会社は子会社の発行済株式の 70% を取得している。連結初年度に連結上必要な当期純利益の按分の仕訳を行いなさい。

範囲指定なし 第4問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	70,000	売掛金	70,000
2	その他有価証券	3,050,000	当座預金	3,050,000
3	買掛金	500,000	受取手形	500,000
4	退職給付費用	800,000	退職給付引当金	800,000
5	買掛金	20,000	仕入	20,000
6	当座預金	5,000,000	国庫補助金受贈益	5,000,000
7	別途積立金	900,000	繰越利益剰余金	900,000
8	仮払法人税等	1,500,000	当座預金	1,500,000
9	未収利息	10,000	受取利息	10,000
10	非支配株主に帰属する当期純利益	180,000	非支配株主持分	180,000

【解説】

2. $¥6,000 \times 500 \text{ 株} + ¥50,000 = ¥3,050,000$
9. $¥4,000,000 \times 3\% \times 1 \text{ か月} / 12 \text{ か月} = ¥10,000$
10. $¥600,000 \times 30\% = ¥180,000$